

尼崎市児童ホーム入退室管理等システム 機能要件書

事業者名： _____

当該記載の機能は、本市がシステムを導入する上で要件する機能である。

パッケージシステムで提供可能な機能であるか検討を行い、「対応可否」欄に記号を記入すること。（パッケージ標準の場合は「○」、カスタマイズおよび代替案の場合は「△」、対応不可能は「×」）

また、カスタマイズおよび代替案を記載した場合、「対応に係る追加費用」欄、および機能概要の内容に沿ったものであるか判断するため、「備考」欄に必ず対応内容を記載すること。

各種機能に関して、補足事項がある場合は、「備考」欄に補足内容を記載すること。

大区分	小区分	No	要件	対応可否	対応に係る追加費用 (円：税込)	備考	
共通	操作性要件	1	PC・タブレットでの使用に対応すること。いずれからも同一の画面で操作が可能であり、端末ごとの操作方法を覚える必要が無いこと。				
		2	全ての機能が一つのシステム内で利用可能であり、特定の別システムを利用するような負担がないこと。				
		3	メインメニューのアイコンから各機能をすべて呼び出せること。				
		4	メインメニュー画面において、新着情報（保護者からの連絡など）がPC端末上でプッシュ通知（着信音有）されること。				
		5	システム上のすべての画面からワンクリックでメインメニュー画面への遷移が可能であること。				
		6	保護者向けの案内資料が用意されており、ダウンロードページからいつでも出力できること。				
		7	各施設の情報を一括管理できる、児童課向けの統括アカウントを発行すること。また、総括アカウントは、「全施設分の情報の閲覧・編集」及び「特定の施設のみの情報の閲覧・編集」のどちらにも対応可能であること。				
アカウント管理	職員アカウント	8	職員アカウントの登録・編集・削除は、Excel形式またはCSVにより一括で実施できること。				
		9	職員ごとにログインID及びパスワードを設定できること。				
		10	職員ごとに担当クラス（担当支援単位等）を設定することができ、各機能利用時に担当クラスの児童が標準で初期表示されること。				
		11	職員ごとに担当クラス（担当支援単位等）は複数設定できること。また、担当クラスごとに所属期間を設定できること。				
		12	職員に機能別の権限設定ができること。				
		13	職員の権限設定は、児童課向けの統括アカウントからのみ行えること。				
		14	職員は自身のアカウントのパスワードを変更できること。				
		15	特定の権限のある職員は、他の職員のパスワードを初期化できること。				
	16	職員管理画面において、職員の名前で検索ができること。					
	児童アカウント	17	児童基本情報として、以下の項目を登録（更新）できること。(1)児童名、(2)児童名ふりがな				
		18	児童基本情報は、Excel形式またはCSVから一括で取込ができること。				
		19	年度更新処理を行うことで、児童の再登録をすることなくスムーズに次年度のデータに更新が行えること。				
		20	年度更新は事前準備ができ、スムーズに年度更新の作業を実施できること。				
		21	年度途中の所属グループ変更に対応していること。				
		22	デモ児童を登録できること（入退室管理の児童数などには含まれない、保護者連絡テスト用に利用できるアカウントを作成できること）				
		23	児童課向けの統括アカウントからは、各施設の児童情報を一括して登録・編集・閲覧・ダウンロードができること。				
保護者連絡機能	保護者アプリケーション	24	保護者向けに専用のスマートフォンアプリケーション（以下、保護者アプリ）を用い、各種情報連絡ができること。（保護者が欠席連絡時等の操作時に、ブラウザに遷移する仕様である場合は、利便性の観点から不可とする。）				
		25	保護者アプリは、使用するスマートフォン端末にインストールされたOSの純正アプリケーションダウンロードサービス（iOSの場合はApp Store、Androidの場合はPlayストア）から、保護者自身でインストールできること。				
		26	保護者アプリは、兄弟複数名分をまとめて登録・操作が可能なおこと。保護者は単一のアカウントにて各種機能を利用でき、兄弟姉妹を切り替えるためのログイン・ログアウト操作が不要であること。				
		27	保護者アプリは、「お知らせ」「アンケート」等、項目種別毎の一覧表示機能に対応し、必要な情報をすぐに閲覧できるよう工夫されていること。				
		28	保護者アプリの利用は4人以上行えること。				
		29	保護者アプリの初期設定は、各施設から保護者に配布される専用のID・パスワードを保護者が入力することで行えること。				
		30	保護者アプリの利用者を増やす場合は、既に利用している保護者が新規利用ユーザに対して招待できること。				
		31	ID・パスワードの払い出しは児童登録と同時に自動で行われ、保護者向けの通知資料を複数名分一括でダウンロード・印刷できること。				
		32	保護者アプリの登録状況（登録済み/未登録）を職員側から確認できること。				
		33	保護者アプリからアクセスできるサポートページがあり、事業者からのお知らせを確認できること。				
		34	問い合わせフォームが設置されており、保護者がアプリ利用に関する問い合わせを直接事業者に問い合わせできること。				
		35	万が一のシステム障害時には、施設であらかじめ登録した文言が保護者アプリに表示される等により、障害時に現場への混乱を防ぐ仕組みを搭載していること。				
		連絡申請・承認	36	保護者は、保護者アプリから利用予定（利用する日付と時間帯）、延長利用の有無、欠席（病欠・都合欠・忌引・出席停止・災害欠）、遅刻を申請できること。			
			37	保護者は、保護者アプリから帰宅方法を申請できること。			
			38	施設からは保護者から送信された申請を確認し、承認できること。			
	39		病欠の場合は、病名（児童が罹患しやすい病名を概ね5項目以上）を選択し、申請できること。				
	40		保護者アプリより、申請した情報について施設側の確認状況（確認中、確認済など）がわかること。				

		41	未確認の連絡がある場合、メインメニューのアイコンに未処理のマークが表示されること。				
		42	職員側管理画面では、保護者からの連絡情報が一覧で表示され、承認・未承認状況が一目で確認できること。				
		43	承認後は、保護者アプリ側で申請内容の変更ができないこと。				
お知らせ配信		44	施設から保護者アプリ宛にお知らせの配信ができること。				
		45	配信先は、全児童・学年別・クラス別・任意グループ別・個人別と細かく指定ができること。				
		46	情報の伝達漏れを防ぐため、施設から情報配信された際には、保護者端末にプッシュ通知されること。				
		47	添付ファイル（画像、PDFファイル）を送付できること。				
		48	配信したお知らせについて、児童毎の既読状況確認ができること。				
		49	日時指定による配信予約ができること。日時指定は10分単位で設定ができること。				
		50	定型的な配信内容をテンプレート文として登録ができ、配信時に一覧から選択することで文章が自動転記されること。				
		51	過去のお知らせ内容を複製し、下書きとして書き始められること。				
		52	お知らせの配信にあたり、権限者の承認を必要とする設定ができること。				
		53	送信済みのお知らせを一覧で表示できること。また、タイトル等で絞り込みできること。				
		54	配信したお知らせは、保護者から返信を受け付けないこと。				
		55	児童課は統括アカウントにより、全施設の保護者向けに一斉の情報配信ができること。				
		アンケート		56	保護者アプリ宛にアンケートを配信できること。また、匿名でのアンケートにも対応すること。		
57	アンケート設問は選択式（単数回答）・選択式（複数回答）・記述式のいずれかにて作成ができること。また、アンケート設問は、回答必須の設定にも対応すること。						
58	保護者は自身が回答した内容を閲覧でき、回答期限内であれば回答の修正を行えること。						
59	アンケート毎に回答期限を設定できること。						
60	アンケート結果はExcel形式またはCSVで出力ができ、自由に編集できること。						
61	児童課は統括アカウントにより、全施設の保護者向けに一斉のアンケート配信及び結果確認ができること。						
入退室管理	利用予定管理	62	一日ごとの利用予定情報（児童名、利用時間、延長利用の有無等）を一覧で表示できること。また、当該情報を出力できること。				
		63	利用予定情報は、保護者がアプリから申請した内容が自動で反映されること。				
		64	保護者からの申請の締切については、施設の管理画面にて、種別ごとに設定が可能なこと				
	入退室管理		65	打刻は専用のICカード等をかざすことで行えること。また、補完的な打刻方法として、システム上でも同様の打刻処理が行えること。			
			66	ICカードは施設に設置したICカードリーダーに読み込ませることで、児童の入退室時刻を記録できること。また、QRコードは児童登録時に自動生成され、紙で印刷ができること。			
			67	その日1回目の打刻は入室、2回目の打刻は退室とするなど、入退室を自動で判別する機能があり、手動での切り替え操作が不要となること。			
			68	打刻結果は職員が児童ごとの一覧で確認できること。また、利用予定情報と同じ画面上での一覧表示にも対応すること。			
			69	入退室時の入力漏れや打刻誤りがあった際は、職員が修正ができること。また、当日以外の記録も修正できること。			
			70	予定されている時刻を過ぎても入室していない、もしくは退室していない児童がいた場合、その旨が注意喚起されること。			
			71	保護者は保護者アプリから過去の入退室時刻の履歴を確認できること。			
			72	打刻が実施された旨のプッシュ通知が保護者アプリに対して実施されること。			
			73	児童課向けの統括アカウントからは、各施設の入退室情報を一括して閲覧・Excel形式またはCSVで出力ができること。			
			出席簿		74	入退室の打刻一覧画面から、出席簿を自動作成し、ダウンロード・印刷できること。	
	75	日毎の出欠人数や児童毎の合計出欠日数が自動計算されること。					
76	保護者アプリから申請された欠席理由（病欠・都合欠等）が自動反映されること。						